

情報活用能力をはぐくむモデル校 公開授業研究会



今年度、大東市立氷野小学校・大東市立南郷中学校は、大阪府教育庁「スクール・エンパワーメント推進事業」情報活用能力をはぐくむモデル校の指定を受け、府域共通の課題に取り組み、その成果を府域全体に普及・発信するモデル校としての取組みを進めています。

令和7年10月10日（金）に大東市立南郷中学校にて開催された公開授業研究会では、市内・市外あわせて約140名の先生方にご参加いただきました。

公開授業では、「課題の設定」「収集」「整理・分析」「まとめ・表現」「振り返り・改善」の授業スキルマグネットシートを黒板に掲示し、教職員だけでなく、生徒も意識できるように工夫されました。また、1人1台端末だけでなく、図書資料やパンフレット等も活用しながら情報を収集したり、授業支援ツール等を活用して整理・分析したりと、子どもたちの情報活用能力の育成を意識した授業展開となっていました。



令和7年11月7日（金）には、大東市立氷野小学校で公開授業研究会を開催しました。

どの学級でも、探究的な学習を生み出す4つのステップ（「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」）を意識した授業展開となっていました。前時までに情報収集した内容を全体で共有したり、これまで学習してきたことを生かして課題を解決したり、友だちの意見を参考にしながら自身の考えを深めたりと、1人1台端末やさまざまな情報手段を活用して学習を進めていました。



氷野小学校・南郷中学校の取組み、大東市のICT教育の取組みは、各校ホームページまたは、大東市ホームページからご覧いただけます。

【氷野小 HP】



【南郷中 HP】



【大東市 HP】

